

第6回 フェリス女学院大学

日本文学国際会議

2007年11月16日(金)

入場無料

17日(土)

フェリス女学院大学

緑園キャンパス・8号館グリーンホール

日本文学研究の可能性

日本文学はどこに行くのか

今回の「日本文学国際会議」では、

世界各国の研究者による様々な研究報告を通して、

日本文学研究の可能性を問いかける契機したいと思います。

また、シンポジウムでは、日本文学研究の歴史がある

アメリカ・ヨーロッパの諸国では日本文学はどのように教えられているのか。

アジアの諸国では日本文学はどのような評価を得ているのか。

世界の中での日本文学という視点から、

日本文学研究の行方や日本文学教育のあり方を考える会したいと思います。

【主催】



フェリス女学院大学

神奈川県横浜市泉区緑園4-5-3

日本文学国際会議事務局

TEL:045-812-9129 FAX:045-812-9613

横浜駅より相鉄いずみ野線「緑園都市」(快速17分) 駅下車徒歩3分

URL <http://www.ferris.ac.jp>

日本文学はどこに行くのか

日本文学研究の可能性

11月16日(金) 緑園キャンパス グリーンホール

10:00～ 【開会式】 挨拶 フェリス女学院大学長 本間 慎

10:30～ 【個別報告】

15:00

『源氏物語』における〈涙〉表現

鈴木貴子氏(フェリス女学院大学大学院生)

礼楽思想と和歌論、勅撰思想について

尤海燕氏(中国・青島大学専任講師)

外国としての王朝物語:狭衣物語から狭衣の草子へ

チャロ・デエチュベリー氏(アメリカ・ウィスコンシン大学准教授)

15:00～

16:00

【基調講演】

「もののあはれ」の表現とその翻訳

—「源氏物語千年紀」を前にして—

芳賀徹氏(東京大学名誉教授、京都造形芸術大学名誉学長)

16:00～

【レクチャー・コンサート】

平安時代の箏(そうのこと)

—失われた伝承をめぐって—

スティーヴン・G・ネルソン氏(オーストラリア・法政大学教授)

11月17日(土) 緑園キャンパス グリーンホール

10:00～ 【個別報告】

15:30

有島武郎『クララの出家』

馮海鷹氏(中国・清華大学専任講師)

日本文学研究の可能性を求めて

李愛淑氏(韓国・韓国放送大学教授)

遊興の花の理想 —妓生と遊女—

金榮哲氏(韓国・漢陽大学教授)

在外日本絵本の実相

—ハーバード大学燕京図書館を例に—

鈴木淳氏(国文学研究資料館教授)

【シンポジウム】

【閉会式】フェリス女学院大学教授 藤江峰夫

各交通機関
所要時間

